

報告 初夏の武甲自然公園エコハイク 木の実とアサギマダラとツクバネと、の巻

6月17日(土)。県立武甲自然公園(あしがくぼ山の花道、日向山へ)。参加者11名。担当：西部ネット(スタッフ9名)。新聞等に開催案内が掲載されず少しさみしい人数でしたが、歩き出せば、天候に恵まれ、渡る風に「気持ちいいね。来てよかった！」の声に満足感がひろがり、木の実も多く、味を試すなど、楽しい一日になりました。 報告：西部ネット・吉野

芦ヶ久保駅前から2班に分かれて歩き始めるとすぐ、電線の上で親に餌をねだるツバメの雛に遭遇。「親と雛の違いはどこでしょう？」みんな真剣に見比べて考えます。

登りの道は確かにきついのですが、ホトトギスの鳴き声を聞きながら、「夏は来ぬ」の歌さながらに、卯の花に顔を近づけて匂いを確かめたり、「ねえ、あれ見て可愛い。」水色に黒い模様ของ ラミーカミキリを眺めたり、モミジイチゴの味見をしたり、と五感を総動員して歩けば、そこはもう山の花道の入り口。見上げれば風に葉を翻している大きな木がそびえ立っています。落ちていた葉を拾い、両脇から押し潰してペタンコになったような、長い葉柄を触ってもらいました。「この木はヤマナラシ。」名前の由来はすぐに納得。散策路では、優雅に舞うアサギマダラにも出会えました。何度見ても浅葱色の翅には魅かれますね。

昼食は、武甲山を正面に眺めながら、それぞれ持ち寄りのおやつもしっかりと食べ、午後はいよいよ日向山山頂を目指します。標高633m。展望台に上ればスカイツリーと同じ高さだとか。気持ちははやるのですがお昼に食べ過ぎたせいか、からだは重く歩みは進まず。それでも何とか、ジグザグ歩きをしながら全員無事に登頂。「私、今回初登山、初登頂なの！家族に自慢します。」と嬉しそうに話してくれる参加者もいます。

下りの坂は傾斜がきつく「わあ一大変！」と騒ぎつつも慎重に降りていくと、途中で半寄生植物の「ツクバネ」を発見。「これは



ラミーカミキリを発見



ヤマナラシの葉を観察



ナツノハナワラビも観察

木ですか？これは花？それとも実？」興味津々で結局カメラに収まりました。「家に帰ってゆっくり眺めます。いくつ覚えているかしら…。」「何回も参加すればいいのよね。」参加者同士でも会話が弾んでいます。大観音の前でもう一度、武甲山を眺めてから駅に向かいました。気温は上がっていましたが、吹く風が気持ちよく、参加者の笑顔が嬉しい一日でした。